

議事録作成方法の変更提案

1 課題

原子力土木委員会では幹事会、委員会において議事録、公開講演会においては実施報告・質疑応答メモを作成してきた。3 名の幹事が持ち回りで担当してきたが、議事録案作成および幹事団内での確認、講演者との内容確認などで多くの労力が必要な状態が続いてきた。

幹事団リソースをより重要なもの（研究活動、技術文書審議等）に集中するためにも、議事録作成に関する幹事の負荷を下げる必要があると考えている。

2 課題解決案・提案

幹事会・委員会・公開講演会の音声データに基づき、生成 AI を用いて議事録案作成の省力化をはかる。方針としては、詳細な議事メモ（速記録的なもの）ではなく、説明および質疑応答の重要な部分を対象に要約を作成する。

具体的な手順は以下のとおり（委員会議事録の場合）。

Step 1：幹事会録音データに基づき電中研幹事が生成 AI で議事録要約を作成する。

Step 2：担当幹事が議事録要約を作成して、補足が必要な箇所の追記、正確ではない箇所の修正を行う。

Step 3：Step2 で作成された要約版を幹事団で確認した後、委員会に送付する。修正・加筆意見を受けた場合は対応する。

2025 年度第 2 回委員会（12/26）から正式運用したいと考えている。

以上